

石二小だより

第68号 平成30年3月9日(金)発行 文責:鈴木

【電話】0244-22-2724【ホームページ】<https://www.minamisoma.fcs.ed.jp/>

平成29年度重点目標「しっかり聞いて、しっかり話そう」

もう満腹です!~バイキング給食



7日(水)には、6年生の卒業を祝って「バイキング給食」が行われました。この日の献立は、主食がカレーピラフ、焼きそば、ピザトーストの3種類、野菜類がサラダと海苔和えの2種類、副菜が鶏肉の唐揚げ、エビフライ、グラタン、エビチリ、ハンバーグの5種類、デザートはパフェ、夏みかんゼリー、フルーツポンチ、いちごケーキの4種類、そして牛乳にはミルク(それもコーヒー、いちご、ココア味の3種類)も付いて、ホテルのランチバイキングのようでした。この日は、調理員さんたちは普段よりも早く学校に来てこれだけたくさんの料理を作りました。6年生の子どもたちはどれも自分の好きな献立が並んで、どれを食べようか迷いながらも準備をしていました。何度もおかわりに行く人もいて、みんな満足・満腹の給食の時間になりました。調理員の皆さん、ありがとうございました。

東日本大震災から7年が過ぎて

平成23年3月11日にとっても大きな地震が起こり、それに伴った原子力発電所の事故によって、私たちはこれまで経験したことのない日々を直面しました。今、小学校に通う子どもたちは皆入学前で、1年生はまだ1歳にもなっておらず、ミルクや紙おむつなどの入手も難しく、ガソリンも不足し家族みんなが大変な思いをしたことでしょう。また、屋内待避の指示が出たために外出が制限され、ストレスがたまった人もいたことでしょう。震災や津波の影響で、身近な方が亡くなった人もいることでしょう。7年が経過した今でも、心の傷を癒やせない人も少なくありません。忘れてしまいたいと思っても、忘れられない記憶が残っている人もいるかもしれません。「災害は忘れた頃にやって来る」という言葉もあります。地震の他にも噴火や台風、豪雪など、日本は自然災害の多い国です。あの日の記憶を子どもたちに語り継ぎ、私たちの経験が次の世代でも生かされることを願っています。《裏面もご覧ください》



東日本大震災関連のサイトをネットで検索していたら、次のような書き込みを見つけましたので紹介します。もう遠い記憶なのか、まだ最近の出来事のようなのか、人それぞれだと思いますが・・・

- ◆ 何時間も歩き続けてたんだけど、至る所で「トイレ貸します」とか「休憩できます」とかいうビルや飲食店がたくさんあって感動しました。ある企業ビルの人がボランティアで「〇〇線運転再開ですー！」とか呼びかけているのを見て、泣きそうになったマジで。
- ◆ 昨日の夜中、大学から徒歩で帰宅する道すがら、とっくに閉店したパン屋のおばちゃんが、無料でパン配給してた。こんな喧噪の中でも自分でできることを見つけて実践している人に感動。
- ◆ NHKの男性アナウンサーが被災状況を淡々と読み上げる中、「ストレスで母乳が出なくなった母親が、夜通しスーパーの開店待ちに並んでミルクが手に入った」と紹介後、絶句。沈黙が流れ、放送事故のようになった。すぐに立ち直ったけど、泣いているのが分かった。目頭が熱くなった。
- ◆ 韓国駐在の日本人がタクシーに乗ってからお金を払おうとしたら、あっさり拒否されたらしい。「日本人でしょ？日本に帰ったらこのタクシー代を寄付しなさい」と。
- ◆ 子どもがお菓子を持ってレジに並んでいたけど、順番が近くなりレジを見て考え込み、横にあった募金箱にお金を入れて、お菓子を棚に戻して出て行った。店員さんがその子の背中に向けてかけた「ありがとうございます」という声が震えていた。
- ◆ 信号で止まった時、幼稚園バスから手を振られた。「頑張ってー！」と声援をもらった。泣きそうになった。隣に座っていた班長は泣いていた。
- ◆ 来る時に電車で聞いたおばあちゃん同士の会話。「電気が足りないから電気（灯り）消せって」「私たちはお国のために電気消して過ごすのは慣れてるのよ。今回は頭の上に爆弾降ってくる訳じゃないんだもの、喜んで消すわよね」周囲の人々、一瞬シーンとなる。
- ◆ ベビーカーの赤ちゃんと幼稚園くらいの男の子を連れのお母さんの後ろを歩いていました。母「地震きたら怖いね」息子「そしたらオレがこうするから大丈夫」と、ベビーカーを守るように覆い被さりました。小さいけれど立派なヒーロー。
- ◆ 津波で被災した小名浜の実家。家族全員無事でした。一昨日、やっと電話がつながったら「ご飯食べてっか？」と母が。「トイレトペーパーがない」と私がつぶやいたら「送っか？」と父が。自分たちが被災者なのに。
- ◆ 外国人から見た地震災害の反応。物が散乱しているスーパーで、落ちていた物を律儀に拾い、そして列に黙って並んでお金を払って買い物をする。運転再開した電車で、混んでいるのに妊婦に席を譲るお年寄り。この光景を見て外国人は絶句したようだ。すごいよ、日本。